

## 第16課

❖❖ 富士山に登る相談をする ❖❖

### スキット

のぞみとサイダが何やら話をしていますー

Saida (S) : Tungetaka kupanda Mlima Fuji Jumapili **inayokuja**.

Twende kwa namna gani ?

Nozomi (N) : Kwanza tupande Shinkansen,  
itachukua kama masaa matatu.

Halafu tukapande basi.

S : Mlima Fuji ni mlima mrefu kuliko milima yote iliyopo Japani ?

N : Ndiyo, una urefu wa mita 3776.

Na Mlima Kilimanjaro, je ?

S : Una urefu wa mita 6000 hivi.

Kwa hivyo Mlima Kilimanjaro ni mrefu zaidi.

N : Ingawa Mlima Fuji si mrefu kiasi hicho,

❖

サイダ (S) : 次の日曜日, 富士山に登りに行きたい。

Tsugi no nichiyoubi, Fujisan ni nobori ni ikitai.

どうやって行けばいいの？

Douyatte ikeba ii no ?

のぞみ (N) : まず新幹線に

Mazu Shinkansen ni

3時間ほど乗って,

san-jikan hodo notte,

それからバスで行くんだよ。

sorekara basu de ikunda yo.

S : 富士山は日本で一番高い山だよな。

Fujisan wa nihon de ichiban takai yama da yo ne.

N : うん, 富士山は 3776 メートルあるんだよ。

Un, Fujisan wa 3776 meetoru arunda yo.

キリマンジャロはどう？

Kilimanjaro wa dou ?

S : 6000 メートルくらい。

6000 meetoru kurai.

だから, キリマンジャロの方が高いよ。

Dakara, Kilimanjaro no hou ga takai yo.

N : それほど高くはないけど,

Sorehodo takaku wa nai kedo,

upandaji wake utakukumbusha baadaye.



富士登山はいい思い出になるよ。

Fuji-tozan wa ii omoide ni naru yo.

## 解 説

第 16 課では、次の項目について学びます。

- ◆ [動詞シルシ形] トコロノ式  
… トコロノ式のシルシ



### ◆ [動詞シルシ形] トコロノ式

スキットの中にこのような文が出てきましたね。

S : Tungetaka kupanda Mlima Fuji Jumapili **inayokuja**.  
〈次の日曜日、富士山に登りに行きたい。〉

‘inayokuja’が**トコロノ式**です。文字通りは〈来たるところの〉という意味で、よって〈次の〉という表現になっています。

トコロノ式は、前に来る語に「～するところの」と説明を加える言い方です。**トコロノ式のシルシ**を用いて表わします。トコロノ式のシルシは前の第 15 課で見ましたね。‘=o’の型のシルシです。

[動詞シルシ形]

トコロノ式

「～するところの」

トコロノ式は第 6 課にもこのような形で出ていました。この‘ijayo’も文字通りは〈来たるところの〉という意味で、よって、〈来週の〉という表現になっています。

S : Basi twende (…) Jumamosi **ijayo**.  
〈じゃあ、来週の土曜日、(…)行こう。〉

トコロノ式には主に 2 つの形があります。まず 1 つ目の形では、トコロノ式のシルシは時間のシルシの後ろに来ます。

#### ▽ トコロノ式(1)

主語の シルシ	-	時間の シルシ	= 0	{ - 目的語の シルシ }	+ [動詞本体]
------------	---	------------	-----	-------------------	----------

例を見ておきましょう。

- ((例 1)) kitabu ninachokipenda <私が好きな本>  
(私が好むところの本)
- ((例 2)) kitabu nilichokipenda <私が好きだった本>  
(私が好んだところの本)
- ((例 3)) kitabu nitachokipenda <私が好きであろう本>  
(私が好むであろうところの本)

この形では、完了の時間は過去の時間で表わします。

スキットの中に出てきたのは「次の日曜日」でしたね。〈来たるところの日曜日〉という言い方でした。では、「この前の日曜日」はどのように言うのでしょうか。・・・〈過ぎる〉という意味の動詞本体 '+ pita' を用いて、〈過ぎたところの日曜日〉と表わします。

- Jumapili inayokuja <次の日曜日>  
(来たるところの日曜日)
- Jumapili iliyopita <この前の日曜日>  
(過ぎたところの日曜日)

トコロノ式の2つ目の形では、トコロノ式のシルシは動詞本体の後ろに来ます。この形では時間のシルシが入りません。よって、現在、過去、未来は明確には表わせません。

▽ トコロノ式(2)

主語の シルシ	-	目的語の シルシ	+	動詞本体	= 0
------------	---	-------------	---	------	-----

例を見ておきましょう。

- ((例 4)) kitabu nikipenda**cho** <私が好きな本>  
(私が好むところの本)

トコロノ式の否定形はこの形で表わします。時間のシルシのところ否定のシルシ '-si-' が入ります。時間のシルシがありませんから、やはり現在、過去、未来は明確には表わせません。トコロノ式のシルシは否定のシルシの後ろに入ります。

▽ トコロノ式(否定形)

主語の シルシ	-	si	= 0	-	目的語の シルシ	+	動詞本体
------------	---	----	-----	---	-------------	---	------

例を見ておきましょう。

- ((例 5)) kitabu nisi**ch**okipenda <私が好きでない本>  
(私が好まないところの本)

トコロノ式のシルシに場所のクラス 16 の ‘-po’ を用いると、「～する時」、「～した時」、「～するであろう時」という時間を表現することができます。日本語でも「～したところ」などと言う場合には、「ところ」、つまり場所が時間の表現に使われていますよね。

例を見ておきましょう。

- ((例 6)) ninapopanda mlima <私が山に登る時>  
 ((例 7)) nilipopanda mlima <私が山に登った時>  
 ((例 8)) nitapopanda mlima <私が山に登るであろう時>  
 ((例 9)) nipandapo mlima <私が山に登る時>

否定形でも同じように ‘-po-’ を用いると、「～しない時」、つまり「～しないならば」という表現になります。・・・気付きましたか？ ナラバ・スレバ式の否定形のシルシ ‘-sipo-’ と意味も形も同じになりますね。

例を見ておきましょう。

- ((例 10)) nisipopanda mlima <私が山に登らない時>  
 → <私が山に登らないならば>



最後に、各クラスのトコロノ式のシルシを、例で確認しておきましょう。

クラス			
1(3s)	mtu	ninayempenda	<私が好きな人>
2(3p)	watu	ninawapenda	<私が好きな人々>
3	mti	ninaupenda	<私が好きな木>
4	miti	ninayoienda	<私が好きな木々>
5	jiwe	ninalolipenda	<私が好きな石>
6	mawe	ninayoyapenda	<私が好きな石>
7	kitu	ninachokipenda	<私が好きな物>
8	vitu	ninavyovipenda	<私が好きな物>
9	nguo	ninayoienda	<私が好きな服>
10	nguo	ninazozipenda	<私が好きな服>
11	uzi	ninawapenda	<私が好きな糸>
10	nyuzi	ninazozipenda	<私が好きな糸>

※ (3s):3 人称単数, (3p):3 人称複数

解説は以上です。

